

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KEYAKIDS Artist Room		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 19日		～ 2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		～ 2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>支援の質、環境面が高評価。支援プログラムについても固定化されないよう工夫されている点も高評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備や適切な支援の提供についてアンケートで全体的に良好な評価を頂いている。</li> <li>・利用者、保護者から安心して利用できているという認識がある。</li> <li>・子どもの発達や状況に応じた対応ができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムが固定されないよう週ごとに内容を工夫している。ゲーム、製作、避難訓練など、子ども達の姿に合わせて活動内容を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員からの意見をもとに、部屋の使い方や環境設定をより効果的に改善していく。</li> </ul>
2	<p>安全管理（防災体制）が充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練が定期的、実践的に行われている。</li> <li>・災害時への備えが整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練を実施し、安全面への意識を高くもっている。</li> <li>・動画を視聴する等、子ども達の様子に合わせて取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制について、訓練だけではなくマニュアルを整備している。より実践的に取り組む事で安全管理体制を強化していく。</li> </ul>
3	<p>保護者との連携が非常に良好。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状況の伝え合いが十分にできている。</li> <li>・面談や助言についても満足度が高い。</li> <li>・情報配信についても適切に行われていると評価されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との情報共有（送迎時のやりとり、面談、日々の提供記録など）を丁寧に行っている。</li> <li>・外部講座やイベントの情報配信を継続して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者支援の取り組みを継続して企画していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>環境設定の更なる工夫の余地。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員から部屋の使い方について改善提案あり。</li> <li>・現状は良好だが、活動や特性に応じた空間活用の工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での共通理解や最適化がまだ課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境設定について、職員間での話し合いや振り返りの機会を設け、具体的な改善につなげる。</li> </ul>
2	<p>情報発信の「伝わり方」に課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニング（外部講座）の案内が十分に伝わっていない。</li> <li>・保護者参加型イベントの認識にずれがあり、実施していても認識されていない状態になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信は行っているが、「伝えつもり」と「伝わっている」の間にギャップがある。</li> <li>・保護者への周知方法が一方方向になりやすく、理解度や認識の確認が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の方法の見直し。口頭＋書面＋視覚的掲示など複数手段での周知をする等「伝わっているか」の確認を行う。</li> <li>・イベントや講座について、参加の有無だけではなく認識状況の把握（アンケートや声掛け）を行う。</li> </ul>
3	<p>防災マニュアルの周知不足。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は評価されている一方で、マニュアルの認知に不安あり。内容の共有や見える化が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マニュアルの存在や内容について、職員・保護者への周知が十分ではない可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の報告などを年度初めや年度末に実施する。</li> <li>・防災マニュアルの内容を共有、可視化し、分かりやすく伝える工夫を行う。（契約や面談時に説明の機会を設定する等。）</li> </ul>